

【土佐町】 校務 DX 計画

土佐町では校務支援システムをはじめ、1人1台端末の導入、保護者との連絡システム、デジタルドリル、授業支援アプリなど IT 技術の導入を進めている。

一方で紙ベースでの資料配布などデジタル化が進んでいない部分がある。また、導入していない分野での IT 技術の導入で教員の負担軽減の余地も多くある。以下の点を検討して推進を図っていく。

1. 紙資料の削減

配布資料などデジタルに移行しても問題ない内容の物は移行するように進める。

また保管する資料もデータで残すようにし、削減を進めていく。

FAX でのやりとり、押印を行う制度・慣行も残っているのでこちらについても見直しを検討していく。

2. 新しいソフトウェアの導入

授業要領に沿った内容で授業が行えるソフトウェアなども出てきているため、教員が利用しやすいものがあれば導入を検討する。

また、校務支援システムへの名簿情報入力など手入力で行っている作業も多くあるため改善できるように検討していく。

3. クラウドツールの利用促進

保護者への連絡などは導入している連絡システムの機能を使い行っている。

また、教員間の資料のやり取りや、端末を利用しての宿題などの提出はクラウドサービスを利用して行っている。

クラウドツールの更なる利用促進として、Google チャットなどを利用し、連絡や情報共有の場を広げコミュニケーションの促進を図ることや、配信ツールなどを利用しての授業や研修なども検討していく

4. ハードウェアや周辺機器の導入

モバイルルータなどの周辺機器を導入し、IT 技術を利用できる環境を増やしていく。

5. 教育情報セキュリティポリシーの策定

セキュリティポリシーを策定し、周知を進めていく。

6. 次世代の校務支援システムの導入に向けた取り組み

新しい校務支援システムを導入するために、現状の良い点、問題点などを分析し、望ましい校務の在り方について検討していく。